

5日 水曜

テモテⅡ

3:1 終わりの日には困難な時代が来ることを、承知していなさい。

3:2 そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。

3:3 また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を好まない者になり、

3:4 人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快樂を愛する者になり、

3:5 見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定する者になります。こういう人たちを避けなさい。

3:6 彼らの中には、家々に入り込み、愚かな女たちをたぶらかしている者たちがいます。その女たちは様々な欲望に引き回されて罪に罪を重ね、

3:7 いつも学んでいるのに、いつになっても真理を知ることができません。

3:8 たぶらかしている者たちは、ヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、真理に逆らっており、知性の腐った、信仰の失格者です。

3:9 しかし、彼らがこれ以上先に進むことはありません。彼らの愚かさは、あの二人の場合のように、すべての人にはっきり分かるからです。

パウロはテモテに、教会の人々への指導について具体的に書きましたが、それら地上の歩み方をよきものにするには、「終りの日」についての正しい知識が必要です。主の最終的なさばきのときには、善と悪、また信仰と反逆が明確になります。それに



よって主の正しさが鮮明になるのです。

ここにあるような言動をする人々が現れるということですから、それを見聞きしてもうろたえることは要りません。もしかしたら教会にそのような人が入り込んでくるかも知れません。教会がキリストの体であることを知って、キリストのために守ろうとする人は、「真理に逆らって」いる人から教会を守る必要も感じるでしょう。

聖書のみことばを日頃から学び、従い、また教会と主イエスを愛して、必要な時に必要な決断ができるような、信仰の勇者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

